

■2019年度 第7次大阪府医療計画PDCA進捗管理票 豊能二次医療圏

項目	中間年(2020年)までの取組み (計画より転記)	2019年度の取組内容と結果(予定含む) (左記取組内容を記載)		次年度以降の取組み予定
		取組内容	着手状況 (◎:実施 ○:今年度実施予定 △:次年度以降実施予定)	
地域医療構想	「大阪府豊能保健医療協議会」等において、「新公立病院改革プラン」、「公的医療機関等2025プラン」を策定する病院を中心に、各医療機関が地域で担う役割を確認し、地域で必要な医療機能、連携方策を検討します。	病院連絡会での意見を付し、大阪府豊能医療・病床懇話会、大阪府豊能保健医療協議会において、圏域内の各病院が地域で担う役割を確認し、地域で必要な医療機能、連携方策を検討します。	○	病院連絡会等を継続して開催し、地域で必要な医療機能、連携方策について検討します。
	保健所が、保健所管内の病院関係者に対して、医療提供体制の現状と病床機能報告の結果から特に不足する病床機能を情報提供し検討する場を持ち、医療連携機能を強化するとともに自主的な取組を支援します。	圏域内の全病院を対象に病院連絡会を2回開催し、2回目は <b>圏域の全病院</b> 、特に公立・公的病院の今後の方向性について関係者間で共有するとともに、地域の将来あるべき医療機能について意見交換をしました。	◎	病院連絡会を実施し、引き続き医療提供体制の現状・課題について協議し、医療連携機能強化、病院の自主的な取組を支援します。
在宅医療	圏域において安定した在宅医療を提供するため、病院を中心とした関係機関同士の連携会議等で、中核的な病院が在宅療養後方支援病院となるよう後方支援体制を整備する等の取組を支援します。	在宅医療懇話会において、在宅療養を支えるために医療機関が担う後方支援体制について情報共有をしました。また、会議や研修会を通じて、医療機関間の連携を支援しました。	◎	引き続き、在宅医療懇話会、病院連絡会等を開催し、在宅医療の取組み事項の現状把握や対策を検討します。
	入退院時において関係機関とのスムーズな連携を図るため、情報共有の取組を支援します(各種マニュアルの作成・見直しと周知、ICT導入等)。	入退院支援ツールとして、情報連携シートやICTの導入・活用を進めています。また、退院支援のルールや手引きを作成して、関係機関とのスムーズな連携を図っています。	◎	引き続き、在宅医療懇話会において、各市町及び圏域内の取組み状況を確認します。また、課題の抽出・共有などの支援をします。
	関係機関の連携体制を構築するため、在宅医療に従事している関係者が市町の連携会議等に参画できるよう、保健所が橋渡し役になり進めていきます。	医療及び介護関係機関が参画する会議において、在宅医療の連携体制について検討しています。池田市・豊能町・能勢町は、大阪府主導のモデル事業に参画し、在宅医療に携わる関係者で、現状の問題点の整理と今後のあるべき姿の共有を図りました。	◎	引き続き、各市町において在宅医療関係者を含めた連携会議を開催し、連携体制の構築を進めていきます。
	24時間365日の在宅医療推進のための薬剤師会を中心とした薬局ネットワーク化の取組を支援します。	各市町の薬剤師会において、ICT構築や勉強会等を通じてネットワークの構築に向けて検討しています。在宅医療懇話会や薬事懇話会で各市町の現状や課題を共有しました。	◎	引き続き、在宅医療懇話会や薬事懇話会で検討し、ネットワーク化の取組を支援します。
	住民の生活圏を考慮し、府外の医療機関との広域連携の構築に努めます。	池田市において市立池田病院主催で「地域医療連携推進委員会」を開催し、川西市と連携、情報共有を図っています。他市町においても、地域医療に関する会議等での情報収集を通じて周辺市町を含めた広域連携の構築に努めています。また、医療・介護のコミュニケーションツールとして、研修等を通じて利用者のICTの利用推進・拡充を図っています。	◎	隣接する府外の医療機関との連携構築を図るとともに、ICTを活用した連携を推奨します。
がん	豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会で、がんの専門医療提供体制の構築、地域医療連携、がん患者の就労支援等を行っています。	豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会を開催し、各部会(がん登録部会、緩和ケア部会、がん検診情報部会、がん地域連携部会、がん研究部会)が年間計画を策定し、がん医療体制、がん登録の精度管理、がん患者の心の支援等の課題に取り組んでいます。	◎	引き続き、豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会を年2回開催し、進捗状況を確認し検討します。
脳卒中等の脳血管疾患、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病	脳血管疾患については、国立循環器病研究センターが事務局となり開催されている地域連携バス会議で、地域連携診療計画の評価及び情報交換・共有を行っています。	豊能圏域脳卒中地域連携クリティカルパス会議を年3回開催し、FIMデータの集計及びバスデータ解析の報告、情報交換・共有を行っています。また、今年度より関西リハビリテーション病院が事務局となり豊能圏域脳卒中地域連携クリティカルパス会議を開催しています。	◎	引き続き、地域連携クリティカルパス会議を開催し、地域医療の連携体制について検討します。
	心血管疾患については、医療連携を検討する会議等で、慢性心不全を含めた急性期から維持期までの医療連携体制の課題を検討します。	心血管疾患地域医療連携推進会議を年2回開催し、診療情報提供書を中心とした医療連携の推進について検討しています。	◎	引き続き、医療連携推進会議を開催し、医療連携の方法や体制について検討します。
	糖尿病については、医療連携を検討する会議等により、医科歯科連携、病診連携等、多職種連携による包括的なケア体制の構築を図ります。	池田市域、箕面市域、豊中市域、吹田市域において糖尿病地域医療連携推進会議市域調整会議を開催し、糖尿病性腎症重症化予防を中心とした医療連携についての現状と課題を共有しました。令和2年3月5日に豊能圏域全体会議を開催します。	○	引き続き、各市域毎に年1回市域調整会議を、圏域全体で年1回豊能糖尿病地域医療連携推進会議を開催し、医療連携体制について検討します。

## ■2019年度 第7次大阪府医療計画PDCA進捗管理票 豊能二次医療圏

項目	中間年(2020年)までの取組み (計画より転記)	2019年度の取組内容 (左記取組内容を記載)		次年度以降の予定
		取組内容	着手状況 (◎:実施 ○:今年度実施予定 △:次年度以降実施予定)	
精神疾患	身体・精神合併症患者の受入れ体制について、2015年度より開始された大阪府夜間・休日精神科合併症支援システムの運用状況と、ORION分析システムからみるデータとともに経過を確認していき、課題整理します。	救急懇話会において、府夜間・休日精神科合併症支援システムの情報提供をしました。また、ORION分析システムから精神疾患のある事案の応需率を出し、現状と課題を共有しました。	◎	府夜間・休日精神科合併症支援システムの利用状況やORION分析システム、630調査など精神疾患に関するデータを用いて経過を確認します。
	統合失調症、認知症、依存症等、多様な精神疾患にかかる関係機関による協議の場を設け、医療の充実、医療連携推進のために検討します。	精神医療懇話会において、圏域内で依存症や妊産婦のメンタルヘルス等の課題を抽出しました。また、課題を共有し、医療の充実や医療連携の推進に関する検討を行いました。	◎	引き続き、精神医療懇話会において、圏域内の課題の抽出や共有、医療の充実に向け検討します。
救急医療、災害医療	救急搬送及び搬送後の医療機関データを分析し、適正な救急医療体制に向けた課題抽出と分析及び評価をしていきます。	救急懇話会において、ORIONを用いた救急搬送指標及び、医療機関別応需率から、救急体制の現状と課題について意見交換を行いました。また圏域版実施基準の更新と、メディカルコントロール協議会との一体化について承認を得ました。	◎	豊能地域救急メディカルコントロール協議会を年2回開催し、 <b>救急体制の現状と課題について意見交換及び情報共有をします。</b> 1回目は <b>従前の</b> メディカルコントロール協議会で <b>協議していた内容を、2回目は従前の救急懇話会で協議していた内容を行う予定です。</b> また医療体制や実施基準等に問題があるD・E判定の実施基準検証を開始します。
	市民へ救急の適正利用に関する啓発を行い、救急医療の負担軽減に努めます。	各自治体及び消防本部等がホームページ等で救急車の適正利用の啓発や救急医療相談窓口「救急安心センターおおさか」事業の周知を行っています。	◎	引き続き、市民への啓発を行い、救急医療の負担軽減を図ります。
	救急告示病院と救命救急センターを中心としたバックアップ体制のもと、精神科疾患合併患者の受入れ促進の対応を検討します。	救急懇話会において精神疾患のある事案の応需率、精神科疾患合併患者の受入れ可能な医療機関の状況等について意見交換を行いました。また夜間・休日精神科合併症支援システムについて、委員へ情報提供を行いました。	◎	引き続き、精神科疾患合併患者の受入れ体制について、精神医療懇話会での協議状況を踏まえながら、現状把握及び課題整理を行います。
	BCP策定が未整備の病院に対し、立入検査等の機会を策定の働きかけを行います。	圏域内医療機関のBCP策定状況の調査を行い現状を把握するとともに、立入検査等でBCP策定について働きかけを行っています。	◎	引き続き、立入検査等でBCP策定について働きかけます。
	災害時に医療機関と行政等を調整する災害医療コーディネーターと地域災害医療本部長である保健所長とが効率的に連携できるような役割を明確化し、連携を進めています。	今年度より豊能二次医療圏大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修会、災害拠点病院と圏域3保健所との共催で3回実施し、座学だけでなく机上シュミレーション、実動訓練を行いました。	◎	引き続き、研修や訓練等を実施し、医療機関と行政の連携体制の構築を図り、地域の災害時医療体制の強化を推進します。
周産期医療、小児医療	医療的ケアが必要な児の在宅支援体制(訪問診療・訪問看護・レスパイト体制・相談支援事業所等)の充実を図ります。	・保健所毎に地域の基幹病院を中心としたネットワーク会議を開催し、在宅医療支援者と顔の見える関係づくりを行っています。 ・各機関の特徴を踏まえた調整を行い問題解決にあたるよう、聞き取り調査や個別の患者カンファレンスの場を通して相互理解に努めています。 ・在宅栄養ケア事業を推進するため、事業者の後方支援をしています	◎	引き続き、医療ネットワーク会議等を開催し関係機関の連携の強化を図ります。
	関係機関、医療機関との会議を継続的に実施し、連携強化とネットワークの構築をめざすとともに、関係機関と協力し虐待の早期発見にも取り組んでいきます。	小児在宅医療を含め、在宅医療に関わる医療機関と研修会等を通じ連携を深めています。療育機関、市町関係課また産科や精神科医療機関等と地域の実情に応じ連携の輪を広げています。	◎	引き続き、医療ネットワーク会議等を開催し関係機関の連携の強化を図ります。